

教科目標

文字を書くことに関する知識・技能を、各教科や社会生活における言語生活に役立てる。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・字形を整え、文字の大きさ・配列について理解し、楷書で書くことができる。 ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の特徴を理解し、それらを生かして書こうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	漢字を分類してみよう	①点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。 点画の種類を確かめ、漢字の筆遣いに注意して書いている。	作品内容 授業観察
5	漢字の筆遣い 【3】	②穂先の向きや筆圧などを確かめている。 漢字の筆遣いを確かめている。 ③進んで穂先の向きや筆などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。 進んで漢字の筆遣いに注意し、学習課題に沿って書こうとしている。	
6	楷書に調和する仮名 【3】	①楷書に調和する仮名の筆遣いや字形に注意して、整えて書いている。 ②楷書に調和する仮名の筆遣いに注意し、書こうとしている。 ③進んで穂先の向きや筆などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。	作品内容 授業観察
	文字の大きさと配列 【3】	①文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 ②取り組む中で、文字の大きさ、配列などを確かめている。 ③進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考えながら書こうとしている。	作品内容 授業観察
7	文字の歴史を探る 【1】	①漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。 ②おおまかな歴史を確かめている。 ③積極的に文字の歴史について知ろうとしている。	作品内容 授業観察
	目標を書こう 【1】	①②今まで学習した知識・技能を生かして書いている。 ③進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして目標を書こうとしている。	作品内容 授業観察

9	速さを比べてみよう	①漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。 ②書き比べる活動の中で、両者の形の違いを確かめている。 ③積極的に速く書いた時の文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合う。	作品内容 授業観察
10	行書の特徴 【2】	①漢字の行書の特徴を理解している。 ②行書の特徴を確かめながら書いている。 ③積極的に楷書と行書の違いを考え、行書の特徴を話し合う。	
	丸み・点画の連続 【2】	①漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、身近な文字を書いている。 ②行書の特徴（丸み・連続）を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、書こうとしている。	作品内容 授業観察
11 12	点画の変化 【3】	①漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、身近な文字を書いている。 ②行書の特徴（点画の変化）を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、書こうとしている。	作品内容 授業観察
1 2 3	<u>季節のしおり</u> 【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 ②今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品内容 授業観察

書写の定期テストはありません。

学習上のアドバイス

授業について

- ① 目標をよく理解し、それを達成できるように、意識しましょう。
- ② 一画、一画を丁寧に書く習慣を身に付けましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。

その他

- ① 文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。

教科目標

文字を書くことに関する知識・技能を、各教科や社会生活における言語生活に役立てる。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 行書と仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書の特徴を理解し、読みやすい字で、速く書こうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4 5	点画の省略 【3】	①漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 ②行書の書き方（点画の省略）を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	作品内容 授業観察
6	筆順の変化 【3】	①漢字の行書の書き方を理解し、読みやすく書いている。 ②行書の書き方を確かめている。 ③進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	作品内容 授業観察
7	行書に調和する仮名 【3】	①行書に調和した仮名の書き方を理解し、読みやすく速く書いている。 ②行書に調和した仮名の書き方を確かめている。 ③進んで行書に調和した仮名の書き方を理解しながら、書こうとしている。	作品内容 授業観察
9	行書と仮名の調和 【3】	①漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、読みやすく速く書いている。 ②行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。 ③進んで行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、書こうとしている。	作品内容 授業観察
10	行書を活用しよう 壁新聞を作ろう 【3】	①漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 ②今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ③進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして書こうとしている。	作品内容 授業観察

1 1	デザインと文字を考えよう 【1】	①目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。 ②目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を確かめている。 ③進んでテレビ番組のタイトル文字を選び、印象や文字を選んだ理由を考えようとしている。	作品内容 授業観察
	楷書と行書の使い分け 【2】	①目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。 ②目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。 ③進んで書体を選択して書く必要を理解し、適切な書体を選んで書こうとしている。	作品内容 授業観察
1 2	物語を千年書き継ぐ 【1】	①文字の役割について理解している。 ②文字の役割について考えている。 ③文字の役割について話し合おうとしている。	作品内容 授業観察
1 2 3	季節のしおり2 【1】	①今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 ②今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 ③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品内容 授業観察

書写の定期テストはありません。

学習上のアドバイス

授業について	①目標をよく理解し、それを達成できるように、意識しましょう。
家庭学習のアドバイス	②文字を見やすく、速く書く習慣を身に付けましょう。
その他	①授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。
	②文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。

教科目標

- (1) 正しく文字を書く知識・技能を伸ばし、毛筆の学習をすることで、硬筆で書く豊富な活動につなげる。
 (2) すべての書写内容を無理なく、効率的にすすめ、喜びや達成感を感じられるような活動を行う。
 (3) 書写で培った力が、国語科をはじめとする各教科の学習場面や学校・社会生活で生かす。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
1、2年生で学習した知識・技能を生かして、さまざまな字体を身に付けて書く。	今までに学習したことを考え、目的に応じて、毛筆や硬筆の両面の特徴、さまざまな書体を区別して書く。	3年間で習得したことを振り返り、楽しみながら積極的に生かしていく。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	文字を使い分ける 1 全国マップ 硬筆・毛筆【2】	①身の回りには文字による多様な表現があることを理解する。	授業観察 作品
5		②身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	
6		③積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見付けた文字による多様な表現について発表しようとしている。	
7	2 文字の使い分け 硬筆・毛筆【1】	①身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。	授業観察 作品
8		②目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解する。	
9		③積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとする。	
8	3 [コラム]UD書体って何だろう 硬筆・毛筆【1】	①見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深める。	授業観察 作品
9		②ユニバーサルデザイン書体の使用例やゴシック体との比較を通して、文字文化の豊かさ確かめる。	
		③積極的に身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し、学習の見通しをもって見付けた文字について理解しようとしている。	
9	4 3年間のまとめ 毛筆【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②毛筆で書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って書こうとする。	

10 11	5 私の好きな言葉 硬筆・毛筆【2】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②好きな言葉を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分の好きな言葉を書こうとする。	
12	6 〔国語〕季節のしおり3 硬筆【1】	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②季節の言葉をなぞる活動のなかで今までに学習した知識・技能を生かし方を考える。	
		③積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習をなぞろうとする。	
1 2	7 〔国語〕冊子にまとめよう 適宜	①今までに学習した知識・技能を生かして書く。	授業観察 作品
		②冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考える。	
		③積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして学校や部活動の魅力を伝える冊子を作る。	
3	8 〔発展〕なりきり、書聖・王羲之 適宜	①高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解する。	授業観察 作品
		②「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相違点について考える。	
		③積極的に先人の筆跡に関心を持ち、学習の見通しをもって先人の言葉をなぞろうとする。	

定期テスト範囲（予定）（書写なし・・・テストの書体を評価する）

学習上のアドバイス

授業について

③ 1・2年生の学習を生かし、文字を書きましょう。

家庭学習のアドバイス

② 授業で学習した内容を、日常に生かして、文字を書きましょう。

その他

② 文字を書くという、日本語の基本を学びます。書写の時間だけにとどめず、日々の言語生活に生かしましょう。

② 1学期は硬筆を学び、2・3学期は毛筆を中心に学習します。